

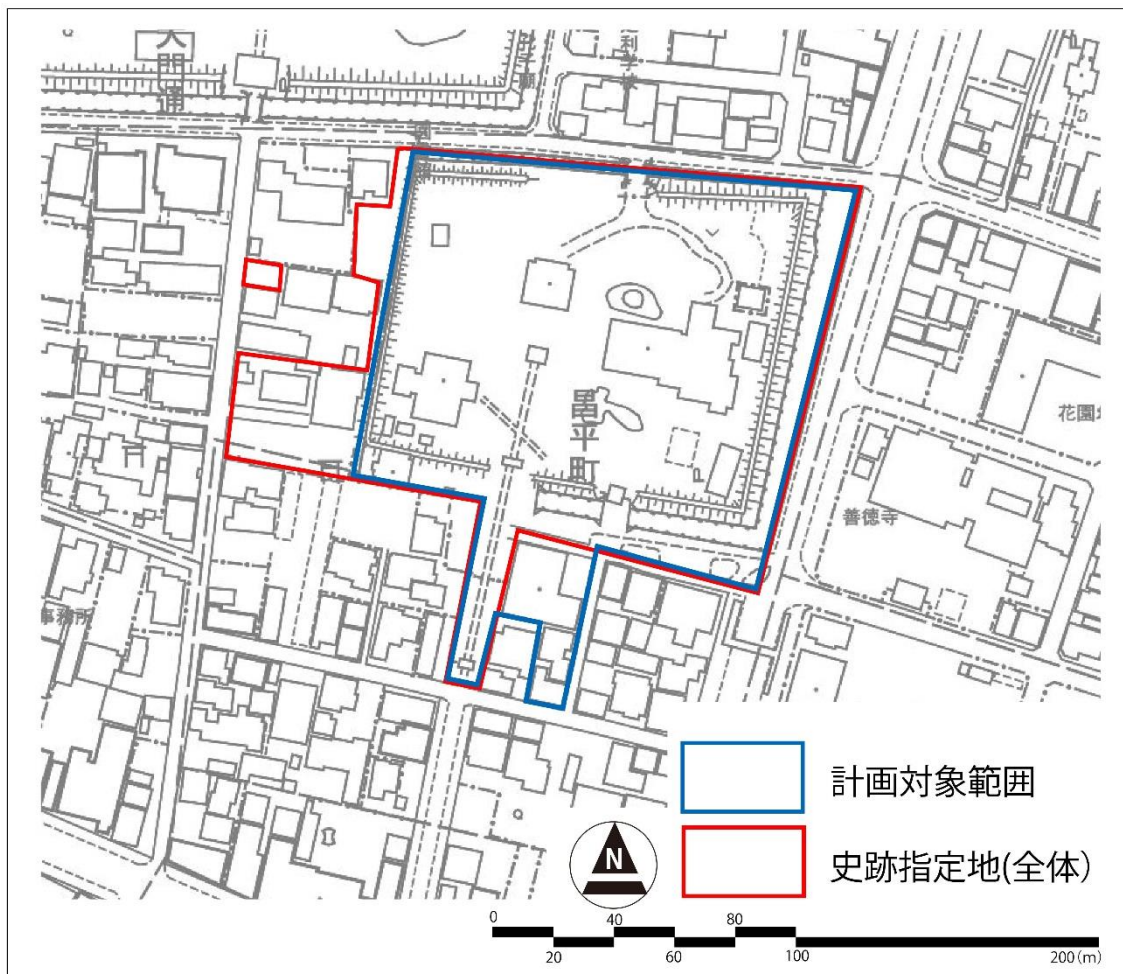
# 史跡足利学校跡第2次保存整備基本計画書〔概要版〕

## 1. 計画の目的

- (1) 第1次保存整備事業(復元整備事業)で整備した復元建物や設備の経年劣化等の状況と要因を明らかにする。
- (2) 第1次保存整備事業の成果を検証するとともに、より良い史跡のあり方を追求し、史跡の本質的価値や構成要素の顕在化する再整備に向けた方向性や具体的な手法、工程等を示す。
- (3) 平成30年度に策定した「史跡足利学校跡保存活用計画書」で十分に意識されていなかった災害や感染症等への対処を考慮した施設整備の方針を示す。

## 2. 計画対象範囲

西側隣接地を除く史跡指定地全体のほか、一部管理のために必要な部分(管理事務所(地下含む)等の市有地)を含めた範囲とする。なお、西側隣接地については将来的に区域を一体化できるように努め、一区画が整った段階から整備を検討することとしたい。



### 3. 計画期間

10年間(令和5年度～令和14年度)とする。

令和5～9年度を短期計画(5ヵ年)、令和10～14年度を中長期計画(5ヵ年)とする。ただし、今後の社会情勢の変化や整備の進捗状況により、計画を改定する場合がある。

年度(令和)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
年度(西暦)	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
事業		短期計画					中長期計画				
整備計画	準備期間	第2次整備計画									
			→								

### 4. 基本方針

- (1) 第1次保存整備事業の成果を検証し、より良い史跡のあり方を追求する。
- (2) 施設の経年劣化や樹木の繁茂等、現況の課題を的確に把握し、改善する。
- (3) 社会情勢や防火・防災環境の変化に的確に対応する。
- (4) 市民に親しまれ、参観者も満足する史跡としての活用を推進する。

### 5. 第2次保存整備基本計画

(1) 全体計画：区域ごとにおける整備の計画・方向性

①参道区域(入徳門～学校門までの範囲)

史跡空間の導入部として更なる景観の向上に努めるため、参道沿いの松並木の整理や標識類の改修等を検討する。

②孔子廟区域(史跡足利学校における学校門や大成殿がある西側の範囲)

- ・史跡足利学校を象徴する学校門や大成殿等の歴史的建造物を後世に残し、伝えていくために適切な補修や維持管理を行う。
- ・参観者の安全確保や建造物の保護等を図るため、繁茂した樹木(植栽類)の強剪定や伐採等の再整備を行う。

③学問所区域(史跡足利学校における復元建物がある東側の範囲)

- ・最新の設備や技術を取り入れ、復元建物等の持続可能な再整備と展示等の改修、ユニバーサルデザイン化などを行う。
- ・経年劣化した防災設備の改修・更新を行うにあたり、最新の設備を取り入れ、防災体制を強化する。

④周辺区域(管理事務所及び多目的駐車場)

- ・感染症対策等の時代の要請に応えるため、参観料等のキャッシュレス決済や非接触対応、ユニバーサルデザイン化の推進を検討する。

## (2) 個別計画：要素ごとの計画

### ①歴史的建造物（復元建物や三門、大成殿等）

- ・復元建物の茅葺・板葺屋根や建具等は特に破損や腐朽が著しいため、早急な葺き替え・更新を行う。葺き替えに際しては、第1次保存整備事業の成果を検証し、長寿命化を目的とした工法を検討する。また、消火・防災設備は、機能や維持管理の面を踏まえつつ、新技術の導入等も含めて効果的な設備に更新する。
- ・史跡案内や展示解説の内容の更新や多言語化を進める。また、車椅子動線の確保等のユニバーサルデザイン化を推進する。

### ②その他歴史資源（庭園やサエンバ、字降松等）

- ・南、北庭園やサエンバは、復元根拠となった絵図に近づけるような景観の改善、歴史展示としての本来の目的に沿った植栽管理を行う。

### ③公開活用施設（管理事務所、参道）

- ・管理事務所で上映する案内ビデオの内容更新のほか、多言語字幕の追加を行う。
- ・感染症対策として新技術の導入も含めたキャッシュレス決済や非接触対応の整備を行う。

### ④植栽

- ・参観者の安全確保や建造物の保護、良質な景観を創出するために大木化や繁茂した樹木の強剪定や伐採を行う。

### ⑤管理・便益施設（消火設備、外トイレ等）

- ・更新推奨時期を過ぎている消火・防災設備等は、新技術の導入も含めた早急な更新を行う。
- ・外トイレは現在の位置・規模を踏襲した上で、景観に配慮した外装に改修する。また、多目的トイレやスロープ等のユニバーサルデザイン化も検討する。

### ⑥案内・解説施設（標識類）

- ・研究の進展による内容更新や多言語化を行うほか、デジタル技術の導入等も検討する。改修に際しては、景観を考慮したデザインの統一を図る。

## (3) 完成予想図



## 6. 事業計画

### (1) 保存整備事業

短期計画: 緊急度の高い復元建物の改修、消火設備・電気設備の更新

孔子廟区域を中心とした樹木の整備

参道・案内施設等整備(多言語解説と案内への対応)

中長期計画: 復元建物内の建具等の改修

樹木の整備

参道・案内施設等整備(ユニバーサルデザイン化・多言語解説と案内への対応)

### (2) 整備推進体制

足利市教育委員会史跡足利学校事務所が事務局となり、国や県の指導・補助を得ながら、学校教育・社会教育・関係団体・地域との連携のもと、整備を推進していく。また、これまでの調査成果及び今後の整備過程を随時発信していく。

### (3) 事業計画スケジュール

整備事業の概要	R 4	中長期計画											
		短期計画					R 10					R 14	
第2次保存整備基本設計		R 5			R 9								
第2次保存整備事業													
実施設計 方丈・庫裡茅葺屋根													
↳ 茅葺屋根葺き替え工事(方丈・庫裡)													
↳ 茅葺屋根葺き替え工事(木小屋)													
↳ 茅葺屋根葺き替え工事(裏門)													
↳ 板葺屋根改修工事(庫裡、書院)													
↳ 板葺屋根改修工事(衆寮)													
↳ 板葺屋根改修工事(新土蔵)													
↳ 建具等の改修・更新工事(復元建物)													
実施設計 (ドレンチャー)													
↳ 消火設備改修工事(ドレンチャー、放水銃ほか)													
↳ 受変電設備更新工事													
樹木整備 植栽管理含む)													
多言語案内システムの導入													
案内表示及び説明板の改修工事													
消防設備 非常放送設備)の更新工事													
消防設備 自火報設備)の更新工事													
実施設計 (トイレ更新 改修)													
↳ トイレの更新・改修工事													
インバウンド対応 映像案内の整備等)													
ユニバーサルデザイン対応													
避雷針設備の改修工事													